

令和 7 年度第 1 回理事会議事録

日 時：令和 7 年 5 月 24 日（土曜日）15:00～17:00

場 所：岩手医大内丸 MC 技師研修室および WEB 開催

現地出席者理事：高橋一博、千葉寛、小野寺奈緒、佐々木まゆみ、菊池佐知子、安藤隆子、佐々木貴美子、
高橋久美子、藤倉由規

WEB 出席理事：浅沼匡介、川村将史、朝岡千佳子、塩越真由美

欠 席 理 事：新沼美穂子、熊谷正邦

現 地 参 加 監 事：菊池英岳、櫛桁久美

事 務 局：下川波歩

会 計：千枝貴幸、佐藤昂

- 1、開会
- 2、理事、監事自己紹介
- 3、確認事項
- 4、議事
 - 1) 会長、副会長。常務理事の選出について
 - 2) 令和 7 年度、8 年度の役割分担について
 - 3) 令和 7 年度学会について
 - 4) 精度管理試料の値上げに伴う予算および参加費について
 - 5) 令和 7 年度理事会日程について
 - 6) 定款諸規定の整備について
 - 7) 令和 8 年度からの理事の選出区分について
 - 8) 役員報酬について
 - 9) その他
- 5、閉会

議事の経過の要領およびその結果

理事及び幹事全員の同意を得て、招集手続きを省略して理事会を収集し、理事及び幹事全員の同意を得て、理事会を開催した。

1、開会（下川）

本日は理事 15 名のうち、13 名の方々に参加を頂いており、過半数を超えているので定款 38 条の規定により会議が成立していることが報告された。Web 会議システムにより、出席者の音声は即座に他の出席者に伝わり、適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認した上で開会を宣言した。

2、理事、監事の自己紹介

理事の自己紹介

3、確認事項（高橋会長）

- 1) 組織再編計画

① 地区配分の再編成について

- ・令和 7 年度をもって 5 地区制（地区技師会）を廃止し、2 地区制とする。
- ・新しい地区制は理事選出区分とし、地区単位」での活動は廃止する。
- ・令和 7 年度は 5 地区制のままとする。ただし、各地区で総会を行うが、地区活動は行わない。
- ・地区活動費は令和 7 年度から廃止とする。（10 万円× 5 地区の経費削減）。
- ・理事選出方法については、令和 7 年度の検討事項とする。

② 学術部再編成について

- ・地区部門員がほぼ機能していないため、2 地区制への移行に先行して、令和 7 年度から地区部門員を廃止する。
- ・各部門は部門長と副部門長の 2 名体制とし、役割分担を明確にする。
- ・令和 7 年度から研修会は学術部主導で開催する。
- ・令和 7 年度の県学会（南部地区主催）に学術部が協力し、令和 8 年度からの県学会は学術部と理事で企画・運営する。
- ・学術活動に必要な人員については、全員に協力を求める。
- ・部門長および副部門長の選出方法や組織体制、支出規定の見直し等は令和 7 年度の検討事項とする。

③ 組織再編スケジュール

- ・令和 8 年度から 2 地区制を開始するにあたり、令和 7 年度の新役員は 1 年で辞任とする方針。可能な限り、現行役員を令和 8 年度の新役員として再任したい。
- ・令和 8 年度から日臨技と任期を合わせることができる。
- ・2 地区制への移行にあたり、組織図や規定等の変更が必要となる。令和 8 年度からの移行にむけて、令和 7 年度中に臨時総会を行うことも検討する。
- ・令和 10 年度の北日本支部学会は岩手県が担当である。令和 8 年度には実行委員会の立ち上げが必要となるため、令和 8 年度からの役員は、可能な限り 2 期継続していただきたい。

2) 事務局移転について

- ・岩手医大内丸の矢巾への統合により、内丸 MC が使用できなくなる。
- ・事務所を内丸 MC 内から紺屋町ギボーシプラザ 402 号へ移転させる。（事務所に直接関連する経費は年間 712,100 円）
- ・事務局移転に伴い、貸倉庫を解約する。（年間 133,200 円の経費削減）
- ・移転に伴い、引っ越し費用や新規購入物品等による経費がかかる予定。
⇒150 万円くらいを予定している。
- ・移転は令和 7 年 7 月 1 日を予定。（随時、理事会で情報を共有する）その後の事務局運用については、令和 7 年度中に検討する。

3) ホームページのセキュリティ対策について

- ・ホームページのセキュリティ対策として、SSL 設定が必要であることから、早急に対応する。（ホームページ関連で年間 11800 円の経費が追加となる）
- ・令和 7 年度中にサーバー移行を含めたホームページのリニューアルを検討する。
⇒ホームページ更新時に同時に行う

4) 三陸南部山林火災対応について

- ・岩臨技としての対応および被災状況の報告と今後の課題。

- ・被災者を対象に会費減免を行う。申請があった場合、直近で開催される理事会で決議し、県事務局で免除申請の対応を行う。
- ・今後、県との災害協定も含めた災害対応について検討し、災害マニュアルの作成や規定の見直しを行う。⇒震災時の記録がなかったことから、今後は岩臨技として記録を残していく。

4、議事

1) 会長、副会長。常務理事の選出について

下川波歩事務局長より、定款第 25 条第 2 項の規定により「理事のうち 1 名を会長・2 名を副会長、常務理事を 2 名おくこととされており、その選出は理事の互選による」旨の発言があった。互選の方法については事務局に一任とされた。事務局案として、高橋理事を会長に、千葉寛理事と小野寺理事を副会長に、佐々木理事と川村理事を常務理事に推薦された。なお、被選任者は席上その就任を承諾のうえ全会一致で承認された。

2) 令和 7 年度、8 年度の役割分担について

役員	氏名	担当	施設名
会長	高橋 一博	会務全般	岩手県立磐井病院
副会長	千葉 寛	日臨技理事	盛岡市立病院
副会長	小野寺 奈緒	学術部長、生涯教育担当	盛岡おおうら脳神経内科クリニック
常務理事	川村 将史	公益事業部長、盛岡地区会長	いわてリハビリテーションセンター
常務理事	佐々木まゆみ	総務部長	岩手県立大槌病院
理事	浅沼 匡介	会計部長、HP 担当	盛岡赤十字病院
理事	塩越 真由美	学術部、精度管理部長	岩手県立中央病院
理事	熊谷 正邦	北部地区会長、HP 担当	岩手県立一戸病院
理事	藤倉 由規	書記、会報	岩手県立軽米病院
理事	佐々木貴美子	中部地区会長、書記、会報	岩手県立中部病院
理事	菊池 佐知子	学術	岩手県立遠野病院
理事	安藤 隆子	南部地区会長、学術	岩手県立千厩病院
理事	高橋 久美子	学術	岩手県立大船渡病院
理事	新沼 美穂子	三陸地区会長、公益	岩手県立釜石病院
理事	朝岡 千佳子	公益	せいてつ記念病院
事務局長	下川 歩波	事務全般	岩手医科大学付属内丸 MC
監事	菊池 英岳		岩手県立胆沢病院
監事	櫛桁 久美		医療法人日新堂 八角病院
会計	千枝 貴幸		岩手医科大学付属内丸 MC
会計	佐藤 昂		岩手県立中央病院

上記について提案され承認された。

3) 令和 7 年度学会について

会期：令和 7 年 11 月 30 日（日）

会場：前沢ふれあいセンター

担当：南部地区技師会

決まっているのは、午前 一般演題、午後 教育講演、特別講演を予定。

今後、実行委員会を開催する予定です。

⇒議事録等、サイボウズに記載して意見等も伺いながら進めていく。

- 4) 精度管理試料の値上げに伴う予算および参加費について
- ・今年度は、血液部門は試料の値上げにより 2 濃度から 1 濃度へ変更した。
 - ・精度管理調査の性質上、2 濃度で実施することが望ましい。
 - ・来年度以降、予算額は据え置きとし、参加費の値上げを検討する。
- 5) 令和 7 年度理事会日程について
- ・5 月、10 月、令和 8 年 3 月（2 月）、令和 8 年 5 月に加えて追加の理事会も随時行う予定。
- 6) 定款諸規定の整備について
- ・新しい地区割にあわせて諸規定の整備が必要となる。
- 7) 令和 8 年度からの理事の選出区分について
- ・定款では理事の選出は 10 名以上 15 名以内、うち会長 1 名、副会長 2 名、常務理事 2 名を選出することになっている。
 - ・新地区割での理事の選出方法と人数区分は、今後の理事会で検討する。
- 8) 役員報酬について
- 生涯教育担当：60,000 円/年、ホームページ担当：42,000 円/年、会報担当：42,000 円/年、
事務局長：180,000 円/年、会計：66,000 円/年
- 9) その他
- ・各地区の総会について
北部地区は、5 月中に書面決済で実施した。
盛岡、三陸、中部、南部地区は、まだこれからなので、電子的回収方法あるいは書面決済で行うか検討する。
 - ・学術部 小野寺 奈緒 副会長
研修会の開催申請方法 等を変更した。
 - ・日臨技 千葉 寛 副会長
臨地実習指導者講習会について
⇒受講者が少ないため、参加者を募っていく。

5、閉会（下川）

以上を持って理事会の議案を終了し 17 時 00 分に閉会を宣言した。

令和 7 年 5 月 24 日

代表理事 高 橋 一 博

出席監事 菊 池 英 岳

出席監事 櫛 桁 久 美